

会議録（要点筆記）

会議名	第5回 米原市総合教育会議
開催日時	平成28年6月13日（月） 16時00分～17時30分
開催場所	米原市役所山東庁舎2階 会議室2AB
出席者および欠席者	<p>構成員</p> <p>平尾道雄市長、山本太一教育長、稲村邦夫教育委員長、河居郁夫教育委員、本庄通子教育委員、近藤由加里教育委員</p> <p>事務局</p> <p>田中博之教育部長、宮崎幹也こども未来部長、安食富美子こども未来部次長、藤木利彦学校教育課長、仲谷良徳教育総務課長、鏝田正広政策推進部次長、小寺真司政策推進課課長補佐ほか担当職員2人</p> <p>傍聴者</p> <p>なし</p>
議題	米原市教育大綱について
審議経過	<p>事務局</p> <p>市長</p> <p>1 開会 （事務局から開会あいさつ）</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>・本日は、教育委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、米原市総合教育会議に御出席をいただき誠にありがとうございます。また、皆様には日ごろから米原市の教育行政の推進に多大なる御尽力を賜っておりますことに対しまして感謝を申し上げます。また、近藤様におかれましては、この度、米原市教育委員に御就任いただきまして誠にありがとうございます。今後とも米原市の教育の推進にお力添えを賜りますようお願いいたします。さて、6月3日から昨日まで第33回天の川ほたるまつりを開催しておりました。期間中は、市内外から多くの方々が見物に来られました。今年例年より多くのゲンジボタルの乱舞が見られ、過去30年で最多とも言われております。このホテル祭りのオープニングでは、毎年、山東小学校の児童の楽器演奏によるホテルパレードが行われています。また、小学校では伝統的にホテルの飼育・観察や環境保護活動に地域と一体となって取り組んでおられます。米原にはホテルをはじめ豊かな自然が数多くあります。こうした取組を通じ、次代を担う子どもたちへ地域のよさを伝え、ふるさと米原を誇りに思う心を育てていくことは、非常に重要であると考えております。さて、本日は、第5回の総合教育会議となります。これまで米原市教育大綱につきまして、熱心に御議論いただきありがとうございました。本日は、米原市教育の基本理念および基本目標につきまして、最終的なまとめをいたしたく、皆様から忌憚ない御意見を賜りたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。</p>

事務局	<p>3 協議事項</p> <p>(1) 米原市教育大綱（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回（第4回）の総合教育会議および3月と5月に開催した教育振興基本計画審議会での議論を基に修正した米原市教育大綱（案）について資料1、2に基づき説明した。 <p>1 教育の基本理念（案）</p> <p>「ともに学び、ともに育つ、学びあいのまち まいばら」 米原市が目指す人間像</p> <p>案①「自分を愛し、ひとを愛し、地域を愛す人づくり」 案②「自分を大切にし、互いに認め合い、地域を誇る人づくり」</p> <p>2 基本目標（案）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①心豊かでたくましく生きる力を育む教育を実現します。 ②学校・家庭・地域が連携・協力して地域全体の教育力向上をめざします。 ③一人ひとりが大切にされ、安心・安全で質の高い教育が受けられる環境をつくります。 ④生涯にわたって豊かに学び合い、いきいきと活動できる環境をつくります。 ⑤米原の自然・歴史・文化の保存・活用を進め、地域文化を育みます。
教育長	<p>協議事項</p> <p>■教育の基本理念について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育振興基本計画の審議会を3回開催し、3回目の基本理念である「ともに学び、ともに育つ、学びあいのまち まいばら」そして、案①の「自分を愛し、ひとを愛し、地域を愛す人づくり」が案として挙がっているという説明を行った。その時に、ある委員から案①のサブタイトルが大きな表現であるという意見をいただいている。これに対し、教育は愛だということ、自尊感情を持つ子どもたちは、何事にも意欲的に学びに向かってくれる。また、人権の視点でお互いに認め合って、支え合って、まわりの人を愛していきましょうという人権の視点も大事にしていきたいということ。そして、地方創生の流れの中で米原に誇りを持ち地域を愛し、愛着を感じる子どもや人を育てたいという説明を行ったが、このサブタイトルが非常に大きいという意見をいただいた。そのため、案②では、「愛し」から「自分を大切にし、互いを認め合い、地域を誇る人づくり」に変えている。誰もが口ずさめるものとしては、この案②になるでしょうが、皆様から御意見をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・願いはわかるが、サブタイトルとするには、両方とも少し長いのではないかと。例えば案①でも「愛し」をとればいいので「自分・ひと・地域を愛す」にすればシンプルでわかりやすくなるのではないかと。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 案②は長くて言いづらい面もあるし、今までから使われてきた言葉が入っている。案①は「愛」という言葉に強いインパクトがあるがリズムとしてはいいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 案②には全部が含まれているように思う。案①で「愛し」が3つ続くのをどうかと思われるなら、「自分を愛し、ひとを愛し、地域を誇る人づくり」と最後を「誇る」に変えてもいいのではないか。地元を愛せるということは誇れるということで、より深まりがあると思う。また、サブタイトルとしては長くない方がいいので、縮めた方がいいと思う。自分を愛するは、自分を大切にできる。それは自己肯定感や自尊感情を高めていくという意味であり、ともに学ぶにつながっていく。自分を大事にできるからいろんな人を大切にできるという思いやりの心が培われていくと思われる。自分からいろんな人へつながって、それをさらに深めると米原市全体につながっていくという意味が含まれていて、地域を愛するというのが米原市民でもありながら、ふるさとを誇れる自信・自慢となるようなことにつながるのであれば、最後は「誇る」にした方が大きな力を持つような気がした。理念の「ともに」をひらがなにしておかげで、友達や同じ活動をしていく仲間、また教える側からにしても子ども達から教えられるという「ともに育つ」、学びながら育っていく「学び合い」を強調したいのかなという気がした。生涯にわたって米原市は学ぶことができる、高めていくことができるに強調されているのかなと感じた。それらを踏まえサブタイトルを考えたときに、いろんなことが含まれている案①の方がいいなと思った。それで、案①の最後だけを「誇る」にしてはどうかと思った。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> 今、委員が言われたように、愛し、愛し、愛すと3つ並ぶよりは、最後は地域を誇るとすると、審議会で出された、大きいというのはましになるのかなと思う。自分を愛し、人を愛すというのは教育で言う心の豊かさが含まれる。自分も大切な存在であり、周りも大切にしたい。そんな子ども達は、人に対してもやさしくできるし、知的探究心、学びに向かう力となり意欲的に向かっていくのではないかなと思うので、自分を愛し、ひとを愛し、最終的には地域を「誇る」とした方がいいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 最後を「誇る」にすると落ち着くし、その結果が地域を誇る人づくりにつながり、しっくりくるような気がする。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 若干皆さんと意見が違うのは、「愛し」とか「愛する」という言葉が、大人が見る文章としてはわかるが、子どもにとってわかる言葉であるか疑問である。字としてはきれいだが、そこに自尊感情や自分を大事にするという言葉が必要な気がする。言葉は伝わらなければならない。理解されなければならない。「自分を愛し」とか「ひとを愛し」ということがど

	<p>ういうことかわからないのに言葉だけが動いているような気がする。それであつたら、長いかもしれないけど、「自分を大切にし、互いを認め合い、地域を誇る人づくり」の方がわかりやすい。長いということであつたら、「自分・ひと・地域」とまとめて、愛という言葉が1度ぐらい出てきてもいいのではないかと思う。事務局で今出た意見を2つぐらいにして、終わるまでに決められるようにすること。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> • もう一つ案として、「自分・人を大切にし、地域を誇る人づくり」。互いに認め合うというのは、他人を大切にするとするところに含まれてしまうのかなと思いますので、そこを削れば、簡潔になると思う。
市長	<ul style="list-style-type: none"> • 教育の基本目標について、人権教育・人権啓発の関係を基本目標2から4へ動かしてもらいました。これはこれでいいと思う。しかもこの文章の中で言うと、基本目標4の下から2行目に確かな人権文化を確立するというところが、今の人権問題で向かうべきところかなと思う。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> • 基本目標2の説明文の「学校・家庭・地域の連携と協働は教育の成否を左右する課題となっています。」というところが大きく書きすぎであると思ったので、「自然体験が減少する中、子ども達の豊かな成長を支えていくため、学校・家庭・地域の双方向での連携と協働が求められています。」とした方がいいと思う。その前も表現も「近年、家庭・地域の教育力の低下が懸念され人間関係の希薄化が進んでいるという声が多くなっています。」という表現にした方がいいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 基本目標3で教職員の資質や指導力の向上、先生は頑張っているという、質の高い教育を目指し研修に励み、そういう教育環境にあるという文言が目標の説明の文章に出てこないのがさみしく思いますのでやっぱり教育に関わっては、指導者、教育者の姿勢が大きく鍵を握ってくるので、安心・安全はそれでいいが、質の高い教育が受けられるようというのは、他の文言が入らないかという思いがある。また、基本目標4の2行目の「学習成果の地域への還元」という文言をもう少しやさしく表現した方がいいと思う。
市長	<ul style="list-style-type: none"> • スポーツの言葉が、生涯スポーツしか出てこないがこれでいいのか。スポーツコミュニティ米原ではスポーツを通して仲間や人との交流を目指している。一方で子ども達の脆弱さとか体力の問題も含めて野外遊びもこれから具体化していきたいと考えているが、そういう方向性の中で、体力や自然に向かい合う力強さとかスポーツを通して得るものが多いと思うが、そういうことに少し触れなくてよいのかという気がした。オリンピックや国体を含めていろいろと動きたいと思っている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先日、神奈川県からホームステイに来られたが、米の生育過程を知らない子どもがいる。米原の子はどうかと言われると、田んぼづくりなどの体験学習をしておられるが、今の日本の子どもはそういう風に育ってしまっている。その辺をどうするかということを大人はしっかりと考えなければいけない。住宅環境も変わってしまった。私らが子どもの時は家の中で牛も一緒に育ってきた。そう考えると今の子どもたちは生きる力を何にも知らない。今の子どもが大きくなったときに本当に危惧をする。その辺を地域を上げてどうするのか話が見えない。だから、年配のものがもっと動いて、いろんな行事を地域を上げてやっていかないといけない。今の子どもは机に座ってちゃんと勉強はしているが、点数はとってもちょっとさみしい感じはする。だから、いろんな面でひ弱さを感じる。そういう面からどういう力を付けていくのかが問題になってくる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も子どもが一人いるが、実家が畑をしており、自分の家では教えてあげられないことを実家では教えてもらえる。この間も梅を採りに行ったが、子どもは売っている梅干ししか知らないため、大きい梅が小さな梅干しになることが不思議みたいで、なりかたも知らないし、今の子はなかなか体験する場所がない。県外から来られているお母さんが周りにいるが、そういう方が帰ろうと思っても帰れないので、小学校低学年のうちにそういう体験をさせて上げられる場所がもっとあってもいいと思う。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・米原市では、就学前の保育園・こども園・幼稚園で自然体験活動を地域の方の協力を得ながらやっているし、小学校も田んぼの学校を4年生がやっている。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標について、残りの時間で最終的な意見をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標4の「生涯にわたって豊かに学び合い」の「豊かに」はどのようなを指しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なという意味です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標2について、先ほど教育長がおっしゃったが、「連携と協働」という言葉を最近よく使うが、並列的に使うのか。(稲村委員)
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながり」という言葉を復活させて、「つながり、協働」してとしてはどうか。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的にチェックしておいて欲しいのは、基本目標として5つ上げている目標の語尾について、「実現します」「めざします」「つくります」「育

市長	<p>みます」となっている。目標設定をしたときに実現のために目標設定を すると思うので、スローガンとして統一することも大事だと思う。一つ 一つきりがいい表現にしておいて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の教育の基本理念の目指す人間像について、出た案を事務局から説明 をしてください。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見の中から4つを提案させていただきます。 <ul style="list-style-type: none"> ① 自分を愛し、ひとを愛し、地域を愛す人づくり ② 自分・ひと・地域を愛す人づくり ③ 自分を愛し、ひとを愛し、地域を誇る人づくり ④ 自分・ひとを大切にし、地域を誇る人づくり
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人づくりですので、地域を誇るのか。地域に誇るのか。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を誇るの方がいいと思う。地域への愛着を感じるとか、そういう子 どもや市民でありたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛し」という言葉は、そもそもは理念にある「学び合い」の、「愛」と いう、本来は人の中でお互いに良さも認め合いながら、支え合って高め 合っていく、そういう「合い」と「ラブ」な話を最初にさせてもらって、 それが「愛」になってきた。ところが市長が言われたように確かに見せ てもらっていると漢字の愛になってくると、次元が高すぎる。だから、 ④の「自分・ひとを大切にし」のように、愛という言葉はないようにし てはどうか。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・60代になった僕らが持っている感覚と、20代、30代は「愛してるよ」と か使っているのであれば残さなければいけないが、日本の文化の中で愛 という言葉は少し違うような気がする。あえて言わせてもらおうと、④が いいと思っているが、「自分・人を大切にし」を「自分もひと大切にし」 にしたらわかりやすいのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の「ともに学び、ともに育つ、学び合いのまち」というのがちょう どつながるので今の市長が言われたのにしてはどうか。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・これも含めて、基本理念・基本目標をペーパーにして、意見を徴収する ようにすること。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・6月23日に定例教育委員会で確認をしていただく。

事務局	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・現在、市で進めているホストタウン事業について説明 <p>5 閉会</p>
-----	--